



南陽家族 第80号
発行日:令和6年4月22日
発行:東京都杉並区高井戸西1-12-1
社会福祉法人 浴風会
介護老人福祉施設グループ

南陽園:Tel.03-3334-2159 / Fax.03-3334-1745
第二南陽園:Tel.03-3334-2197 / Fax.03-3334-1748
第三南陽園:Tel.03-3334-2193 / Fax.03-3334-2198
編集:浴風会介護施設広報委員会
発行責任者:南陽園園長 浅井 敬男

広報

南陽家族

2024年
春号



慈雨晴天

暑さ寒さも彼岸までといいますが、今年は春彼岸を挟んで天気もあまりよくなり、東京でもみぞれが降る真冬のような日もありダウンコートを着てお墓参りに出かけた人もいたようです。

浴風会では春季になりますと、創立以来伝統行事として、礼拝堂で「花祭り」や「春季彼岸法要」などを行ってまいりましたが、新型コロナウイルスの影響で約4年以上を行ってありません。特に「花祭り」で使用される花で飾られる「花御堂」を礼拝堂までお越しになれない三特養のご利用者にご覧いただくため、各特養の各フロアへ運んで楽しんでいただいております。一連の諸行事の再開には今しばらく時間を要するようですが、来年法人創立100周年を迎える来春には再開を願う思いです。

最近の明るいニュースとして、この春高等学校(福祉科)を卒業した生徒3名が当会特養のケアワーカーとして採用することができました。この3名は介護福祉士国家試験にも合格をし、今後、ご利用者サービス向上の担い手となる人材として、大切に育てていきたいと思っております。今後、も実習生の積極的な受入れなどを通じてながら、就職場として選んでもらえるよう努めてまいります。

お知らせ

ボランティア募集!

傾聴や縫い物、クラブ活動、レクリエーションなどをしてくださるボランティアの方を探しています。

*お問い合わせは:各施設のボランティア担当まで

職員募集!

あなたのお力をお待ちしております

現在、契約職員を随時募集しております。より良い施設づくりのために皆様のお力をお貸してください!お待ちしております。

◎介護福祉士の方:時給 1,540円

◎介護職員基礎研修・実務者研修の方:
時給 1,440円

◎ヘルパー2級・初任者研修の方:時給 1,340円

◎資格のない方:時給 1,290円

*お問い合わせは:各施設の採用担当まで

ご意見をお寄せください!

内容に関するご意見ご感想をお寄せください。今後、日常生活の様子やご利用者のお声などを引き続き紹介していきます。皆様のお声をお待ちしています。

*編集担当:佐野(南陽園)、佐藤(第二南陽園)、熊本(第三南陽園)

〈各施設の連絡先〉

南陽園

TEL:03-3334-2159 / FAX:03-3334-1745

第二南陽園

TEL:03-3334-2197 / FAX:03-3334-1748

第三南陽園

TEL:03-3334-2193 / FAX:03-3334-2198

ホームページ:<http://www.yokufuukai.or.jp>

新人職員紹介

今年度の 新人職員を紹介します

先輩たちより日々学びながら、ご利用者が穏やかに楽しく過ごせるように、努力してまいります。よろしくお願いいたします。



編集後記

- 東京の桜の開花発表は昨年より半月も遅い観測となりましたが、暖かい日が続いたため散歩を楽しみ、ご利用者と一緒に春を感じることができました。(佐野)
- 今年は寒さや天候の悪さが続き、なかなか桜が咲かず、4月になってやっとお散歩に行くことができました。春は短いですが、ご利用者と楽しみたいと思います。(佐藤)
- お花見の季節となりました。この時期に井の頭公園に行くと人の多さにげんがりしてしまいますが、桜を愛でながら呑むお酒はやめられません。(熊本)

南陽園

デザートバイキング

色とりどりのデザートを楽しそうに選び、
召し上がる姿が見られました。



お花見

桜の花を前に
皆さんの笑顔が
見られました。



ひな祭り

お雛様を目にする
と
素敵な笑顔が
見られました。



第二 南陽園

ひなまつり

ひな祭りでは、
お雛様と記念撮影をしました。
おやつは桜餅でした。



お花見

桜、たんぽぽなどの
春の花を楽しみました。



第三 南陽園

ひなまつり

皆さん笑顔で
写真を撮られました。



お花見

桜をみると
驚きの声を出され、
キラキラした目を
されていました。



令和6年度 介護保険事業の主な取り組み(概要)

浴風会特別養護老人ホーム三施設を中心とした令和6年度事業の主な取り組みに(概要)について説明をいたします。

第1 「介護報酬の改定」について

- ① 報酬改定について、適切かつ有効な対応をいたします。
- ② ご利用者及びご家族等への適切な説明(書面含めて)を行います
- ③ 介護職員等に対する処遇改善加算を有効に活用して、人材確保に努めます。

第2 「ご利用者の権利擁護の推進」について

- ① 昨年度に引き続き、ご利用者への虐待未然防止の徹底とサービスマナー向上(不適切ケア防止)を目的に、各施設設置の「権利擁護・虐待防止委員会」の定期開催及び研修会開催(年2回以上)を通じて全職員に虐待防止への意識を深めます。
- ② 全職員の更なるサービスマナー向上のため「サービスマナーマニュアル」に基づき、接遇マナー(挨拶・笑顔・適切な言葉遣い等)の向上に取り組みます。
- ③ 各施設の「身体拘束廃止委員会」を中心として身体拘束ゼロをめざし、不適切なケア防止の徹底を図ります。
- ④ 事故防止又は軽減を図るため見守り機器(介護ロボット、福祉用具)等を引き続き活用するとともに、「事故防止対策委員会」の定期開催等を通じて転倒や服薬等による事故のリスク軽減に努めます。
- ⑤ 大地震等発生時及びパンデミック等感染症発生時における事業継続計画(BCP)の見直しを行います。

第3 新型コロナ感染症への対応について

新型コロナ感染症の対応について、感染症予防(館内マスク着用等)を図りつつ、感染状況を鑑みたうえ、面会やボランティアの受入れ等、コロナ禍前の日常に戻すことを前提で検討し、改善を図ります。

第4 物価高騰(光熱費・介護用品等)への対応について

- ① 光熱費(電気・ガス等)について、引き続き節電・節ガスに努める他、省エネ機器等への切替えを推進します。
- ② 浴風会のスケールメリットを活かして、介護用品等の効率的な購入を促進いたします。

第5 その他について

① 各施設の設備保守、機器の更新

- 車椅子、リハビリ器具等随時更新(全施設)
- 各階の特殊機械浴槽3台更新(第二南陽園)
- 浴室脱衣場等の改修(南陽園)
- ナースコール設備更新(第三南陽園)
- 館内照明のLED化整備(南陽園・第三南陽園)

② 地域貢献活動

地域の社会資源(人材・施設)としての役割を果たすよう次の活動を行います。

- 地域の小・中学校の福祉教育への協力(職員派遣)
- 認知症サポーター養成講座の開講
- 地域の介護予防教室への協力(リハ職員派遣)

③ 労働安全衛生の推進

- 5S活動への取り組み

整理・整頓・清掃・清潔・しつけを通じて、職場の抱える課題を解決するための改善活動(いわゆる5S活動)に取り組み、職場の安全を高め、仕事の質を高め、チーム力を高める事を目的に取り組む(先ずは、整理・整頓から実施)

令和6年度 介護報酬改定の概要

平成12年度から始まった介護保険制度は、3年に一度介護報酬を見直すことになっており、今回は8度目の改定となります。

今回の改定では5つの狙いが示されており、やはり「制度の持続可能性」・「地域包括ケアシステム」・「自立支援」が重点事項として今回も挙がっています。

それぞれの狙いについて特別養護老人ホーム（特養）に関連した内容に絞ってご説明します。

① 地域包括ケアシステムの深化・推進

そもそも『地域包括ケアシステム』とは、人口減少と介護需要の増加という問題がある中で、医療や介護の専門職だけでなく、地域一般住民とも力を合わせて、介護や介護予防を支えていこうとするシステムで、日本国の大きな概念です。今回の改定では、認知症の方や単身高齢者、医療ニーズの高い中重度の高齢者を含め、質の高いケアマネジメントや必要なサービスが切れ目なく提供されるよう、地域の実績に応じた柔軟かつ効率的な取り組みを推進するとしています。

このように地域包括ケアシステムのテーマは広範囲であります。特養に関連するテーマとしては「高齢者虐待防止の推進」・「感染症や災害への対応力向上」・「医療と介護の連携力推進」等が挙げられます。

② 自立支援・重度化防止に向けた対応

『自立支援』は介護保険制度の理念の根幹であり、制度改定の度に挙がる重要なキーワードです。今回の改定では、高齢者の自立支援・重度化防止という制度の趣旨に沿った、多職種連携やデータの活用等の推進を目指しています。

特養に関連するテーマに「機能訓練・口腔ケア・栄養管理の一体的な取り組み」があり、自立の維持には、それぞれ実施しているこれら3つを一体的に取り組むことが効果的とされています。

③ 良質な介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場づくり

介護人材不足の中での更なる介護サービスの質の向上を図るため、介護職員等の処遇改善や、生産性向上による職場環境の改善に向けた先進的な取り組みの推進を目指しています。

特養に関連するテーマの一つ目は「介護職員の処遇改善」ですが、実際は介護職員だけでなく、チームの一員である看護師・相談員・機能訓練指導員等の介護職員以外の処遇改善も配慮します。なお関連した処遇改善加算の改定を6月に実施します。

二つ目は「生産性の向上等を通じた働きやすい職場環境づくり」で、これは人材不足問題を見越して、“働きやすい職場環境”と“生産性の向上”を同時に目指すとしています。

④ 制度の安定性・持続可能性の確保

介護保険制度の安定性・持続可能性を高めて、全ての世代にとって安心できる制度の構築を目指しています。特養に関連するテーマは「報酬の整理と簡素化」で、例として度重なる改定によって重複且つ複雑化してしまった処遇改善加算の一本化があります。

⑤ その他

その他の中での、特養に関連するテーマは「書面掲示規制の見直し」と「居住費の見直し」があります。

まず「書面掲示規制の見直し」に関しては、運営規程や重要事項等の書類の周知は従来、掲示等の紙媒体が主でしたが、インターネットが普及した時世に沿って、これからはWEBなどの電子媒体への掲示・公表を義務化するとあります。

次に居住費の見直しですが、令和4年から続く光熱費の高騰において、補足給付（低所得のご利用者に対して食費・光熱費・室料等の利用者負担を軽減する制度）に該当するご利用者についても、居住費の値上げが予定されています。1日あたり60円の値上げが予測されていますが、現在未定です。なお補足給付の改定は8月ですので、それまでには値上げ額が確定します。



石渡 博幸 園長 退職挨拶

定年退職のご挨拶

日頃から、浴風会の事業並びに第二南陽園の運営に当たり、ご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、私こと 本年3月31日をもって定年退職することとなりました。令和元年7月から第二南陽園園長を拝命し、約5年弱の間勤務させていただきました。障害福祉の世界から、高齢者福祉の世界に入り、ご利用者の人権擁護の観点は同じながら、様々なことが不慣れで、皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。ご利用者並びにご家族の皆様、職員に支えていただいたことに感謝申し上げます。

入職後すぐに新型コロナウイルスの感染が始まり、在勤中はコロナ対応に終始した印象でした。しかし、一方でホールで開催されたご利用者のコーラス発表会やお花見、四季折々の行事など、ご利用者と一緒に楽しませていただいた思い出もたくさんあります。浴風会は来年で創立100周年を迎えます。これからもご利用者が安全に楽しく日々を送られるよう質の高いサービスを提供するとともに、地域の皆様のお役に立っていく法人であり続けることと思っております。引き続き当会並びに第二南陽園へのご支援、ご協力を賜りたくお願い申し上げます。



中澤 雄一 園長 就任挨拶

前任の石渡園長の後任として、令和6年4月1日付で第二南陽園園長を拝命いたしました中澤と申します。

私は平成5年の入職から平成24年の人事異動まで3か所の特別養護老人ホームでケアワーカー、生活相談員の業務に携わってまいりました。今回12年ぶりの、そして園長としては初めての特別養護老人ホームの勤務になりますので、改めて3つのサービス指針

「笑顔で、ご利用者の心に寄り添うサービスを提供します」

「地域と繋がり助け合う、開かれた施設を目指します」

「専門職としての自覚を持ちお互いに成長できる職場環境を作ります」

を胸に刻み、初心にかえて職責を果たしてまいります所存です。

さて、浴風会は来年100周年を迎えます。その節目の年に団塊の世代の方たちが75歳以上となり、推計では杉並区内で7万人を超える方々が後期高齢者になると見込まれています。その中で第二南陽園は、困った時に「助けて」と言っていただけるような、地域の拠り所として求められる、そんな施設を目指してまいりたいと考えております。至らない点もあろうかと存じますが、これからもご指導とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

栄養士紹介



加藤 三紀子 管理栄養士 異動挨拶

4月1日に浴風会病院から第二南陽園に異動してきました管理栄養士の加藤三紀子です。浴風会歴は長いのですが、介護保険施設は初めてで特別養護老人ホームでは1年生です。

皆様に教えていただきながら成長していけたらと思っています。

「料理を作って食べられる管理栄養士」をモットーに仕事しています。郷土料理やお勧めスイーツ、珍しい料理等についても教えてください。よろしくお願いいたします。



木村 志穂 管理栄養士 異動挨拶

4月1日付けで浴風会病院に異動が決まりました。第二南陽園には約18年いました。

とても長い間いたので、沢山のご利用者の方と関わり、いろんな経験をさせていただきました。管理栄養士は直接ご利用者の方のケアに携わるわけではないですが、ご利用者それぞれにとっての食事をどのように提供していくか、他の職種と相談しながらいろいろと考え取り組んできました。人は生きるために食事をします。しかし、人それぞれ、好き嫌いは違いますし、体の状況も違います。できる限り情報を集めてそれぞれの方にあった食事提供ができるように関わってきたと思っています。まだまだ、いろんなことができたのかなと思うことはありますが、ここで学んだ沢山の経験を次の場所で生かしていきたいと思っております。ご利用の方と料理をしたこと。温かい言葉をいただいたこと。色んな事が楽しくて、こんな長い間ここにいられたのではないかと思います。ありがとうございました。